

函数 $f(x)$ ノ $x=a$ ニ於ケル値ガ、 $x=a$ ノ近クデ $f(x)$ ノ取ル値ノ値ニシテ大キイ場合ニ、 $f(x)$ ハ $x=a$ デ 極大トナル トイヒ、 $f(x)$ ヲ 極大値 トイフ。

同様ニ、 $f(x)$ ガ $x=a$ デ 極小トナル トイフコト及ビ 極小値 モ定メラレル。

問三 變數ガ或ル定マツタ範圍内ニアル値ヲ取ルモノトスルソノ範圍ニ於ケル極大ト最大或ハ極大値ト最大値トハ、ソレゾレトシテ違フカ。問二ノ函数ヲ例ニトツテ説明セヨ。

極小ト最小トニ就イテモ、上ト同様ノコトヲ調べヨ。

函数 $y=x^3$ ノ導函数ハ、 $x=0$ デ 0 トナル。然シ、函数 $y=x^3$ ハ $x=0$ デ 極大ニモナラナケレバ、極小ニモナラナイ。

函数 $f(x)$ ガ $x=a$ デ 極大或ハ極小トナルカラ知ルタメニモ、又、 $x=a$ デ 極大トナルカ、極小トナルカラ判定スルタメニモ、 $x=a$ ノ近クニ於ケル $f(x)$ ノ變化ヲ調べナケレバナラナイ。

問三 函数 $f(x)$ ガ $x=a$ デ 極大ニナルコトヲ知ルニハ、ドシテ調べナケレバナラナイカ。

又、極小ニナルコトヲ知ルニハドウカ。

問四 或ル區間ニ於ケル x ノ値ニ對シテ、 $f'(x)$ ノ値ガ常ニ正ナル場合ニハ、ソノ區間内デ、 $f(x)$ ノ値ハ、 x ノ増加ニ伴ナツテ増加スル。コレヲ圖表ノ上カラ説明セヨ。

又、或ル區間ニ於ケル x ノ値ニ對シテ、 $f'(x)$ ノ値ガ常ニ負ナル場合ニハ、 $f(x)$ ノ値ハ、ソノ區間内デ x ノ増加ニ伴ナツテ減少スル。コレヲ圖表ノ上カラ説明セヨ。

問五 導函数 $f'(x)$ ノ値ガ、 $x=a$ デ 0 トナリ、 a ノ近クデ a ヨリ小サイ總ベテノ値ニ對シテ正トナリ、又、 a ノ近クデ a

中等數學

四

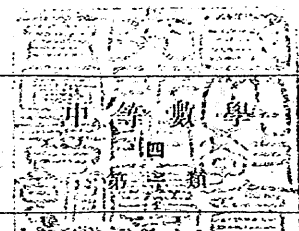
第一類

文 部 省

(中) ¥. 25

文部省調査普及局刊行課寄贈

(61)



中等數學
第四冊
第三類

昭和21年5月25日印刷 同日印刷
昭和21年5月29日發行 同日印刷發行

【中】
定價 25 錢

〔昭和 21 年 5 月 29 日 文部省検査済〕

著作権所有

著 作 者
發 行 者

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE May 25, 1946)

文 部 省

東京都千代田区岩本町三番地
中等學校教科書株式會社
代表者 加 野 庄 吾

東京都千代田区市谷加賀町一丁目十二番地
大日本印刷株式會社
代表者 佐久間長吉郎

發行所 中等學校教科書株式會社

教科書審定 61ノ四

四	道程ノ積分	17
五	原始函數	21
六	三角函數ノ微分	29
七	種々ノ微分ノ仕方	31
八	指數函數・對數函數	40
九	微分・積分ノ應用	45
統 計 ノ 確 率		
一	統計〔一〕	53
二	分 布	56
三	統計〔二〕	60
四	確 率	62
五	數學的確率	66
六	確率ノ計算	69
七	期望金額	73

ヨリ大キイ總ベテノ値ヲ對シテ負ナル場合ニ、 $f(x)$ ハ $x=a$ デ極大トナル。コレヲ證明セヨ。

上デ調べタ結果ハ次ノヤウニマツメルコトガデキル。

導函數 $f'(x)$ ノ符號ガ $x=a$ デ正カラ負ニ變ル場合ニハ、函數 $f(x)$ ハ $x=a$ デ極大トナル。

又、導函數ノ符號ガ上ト反對ニ變ル場合ニハ、函數 $f(x)$ ハ $x=a$ デ極小トナル。

問四 次ノ函數ヲ極大ニスル x ノ値ヲ求メヨ。又、極小ニスル x ノ値ヲ求メヨ。

$$(一) \quad y=2x^3+3x^2-12x+17 \quad (二) \quad y=x^3-6x^2+15x+6$$

一 函數 $y=\sqrt{x}$ 、デ 變數 x ノ値ガ x カラ Δx ガケ増スト、函數 y ノ値ガ y カラ Δy ガケ増シタトスル、次ニ示シタ二ツノ方法デ、函數 $y=\sqrt{x}$ ノ導函數ヲ求メヨ。

$$(一) \quad \frac{\Delta y}{\Delta x} = \frac{\sqrt{x+\Delta x} - \sqrt{x}}{\Delta x} \\ = \frac{(\sqrt{x+\Delta x} - \sqrt{x})(\sqrt{x+\Delta x} + \sqrt{x})}{\Delta x(\sqrt{x+\Delta x} + \sqrt{x})}$$

$$(二) \quad y + \Delta y = \sqrt{x + \Delta x} \\ (y + \Delta y)^2 = x + \Delta x \\ 2y \cdot \Delta y + (\Delta y)^2 = \Delta x \\ 2y \cdot \frac{\Delta y}{\Delta x} + \frac{\Delta y}{\Delta x} \cdot \Delta y = 1$$

二 函数 $y=\sqrt{x}$ ノ導函数ヲ求メヨ。

三 函数 $y=x^{\frac{2}{3}}$ ノ導函数ヲ求メヨ。

四 函数 $y=x^{-\frac{1}{2}}$, $y=x^{-\frac{1}{3}}$, $y=x^{-\frac{2}{3}}$ フ微分セヨ。

五 n ガ正或ハ負ノ整数デアル時, 函数 $y=x^n$ ノ導函数 $y'=nx^{n-1}$ デアル。 n ガ正或ハ負ノ分数デアツテモ, 上ノ公式ガ當テハマルカドウカ。コレヲ調べヨ。

六 次ノ函数ヲ微分セヨ。

$$(一) y=3x-10 \quad (二) y=2x^2-5x+3$$

$$(三) y=15-x^2 \quad (四) y=4x^2-x^3$$

$$(五) y=\frac{x^2}{3}+5x \quad (六) y=x^3-4x^2+6x-8$$

$$(七) y=10+5x-3x^3 \quad (八) y=x^4-9x^2+15$$

$$(九) y=(8-x)(5-x) \quad (十) y=(x+2)^3$$

$$(十一) y=(2x-1)^3 \quad (十二) y=\frac{6}{x}$$

$$(十三) y=\frac{1}{x-1} \quad (十四) y=\frac{1}{7-x}$$

$$(十五) y=\frac{1}{(x+1)^2} \quad (十六) y=\sqrt{5x}$$

$$(十七) y=\sqrt{x-9} \quad (十八) y=\sqrt[3]{x}$$

$$(十九) y=x^2+7x-8-\frac{3}{x} \quad (二十) y=2x^4-11x^2+5-\frac{8}{x}$$

七 次ノ函数ヲ微分セヨ。

$$(一) y=ax+b \quad (二) y=ax^2+bx+c$$

$$(三) y=\frac{a}{x^2} \quad (四) y=a\sqrt{x}$$

$$(五) y=(x+a)(x+b) \quad (六) y=(ax+b)^2$$

八 次ノ函数ヲ極大ニスル x ノ値ヲ求メヨ。又, 極小ニスル

ノ値ヲ求メヨ。

$$(一) y=x^3-3x$$

$$(二) y=2x^3-3x^2-36x+10$$

$$(三) y=4x^3-18x^2+27x-7 \quad (四) y=x^2-15x^3+3$$

九 x ガ -2 ヨリ大キイ數デアル時, 函数 $2x^3+3x^2-12x+7$ ノ値ハ, 負ニハナラナイ。コレヲ證明セヨ。

十 函数 $x^3-10x+5$ ノ値ヲ最モ大キクスル x ノ値ヲ求メヨ。

十一 矩形ノ厚紙ノ縦・横ヲソレゾレ a 糎, b 糎トスル。コノ四隅カラ正方形ヲ切り落シテ箱ヲ作り, ソノ容積ヲ最モ大キクシヨウト思フ。ドレダケノ大キサノ正方形ヲ切り落シタラヨイカ。

十二 半径 a 糎ノ圓形ノ厚紙ガアル。コレカラ扇形ヲ切り取ッテ圓錐形ノ容器ヲ作り, ソノ容積ヲ最モ大キクシヨウト思フ。切り落ス扇形ノ中心角ヲ何程ニスレバヨイカ。

四 道程ト積分

一 道程

第一節ノ後半デ, 時間ト速サトノ關係カラ道程ト時間トノ關係ヲ, 圖上デ求メル方法ヲ考ヘタ。ココデハ, 式ニヨツテ求メル方法ヲ考ヘヨウ。

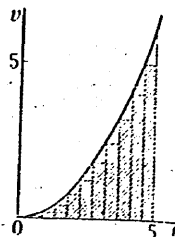
出發シテカラ t 秒後ニ於ケル速サヲ v 米/秒トシ, v, t ノ間ニ次ノ關係ガアルトスル。

$$v=t^2$$

上ノ關係ヲ圖表ニ示シタトスルト, 道程ハ, 曲線 $v=t^2$, 横軸及ビ縦軸ニ垂直ナ二直線ガ圍ム, 圓形ノ面積ニヨツテ示サレル。

随ツテ、上ノ關係式カラ、面積ヲ求メル式ヲ導キ出セバヨイ、
尚、面積ハ區分求積法ニヨツテ求メラレル。今、出發後5秒間ニ進ンダ道程ヲ例ニトリ、ソノ求メ方ヲ述ベヨウ、

先ヅ、横軸上テ0カラ5マデノ間ヲ n 等分シ、各分點ヲ通ツテ横軸ニ垂線ヲ立テル。次ニ、右ノ圖ニ示シタヤウニ、面積ヲ求メヨウトスル領域ニ含マレル $(n-1)$ 箇ノ矩形ヲ作ル。ソノ $(n-1)$ 箇ノ矩形ノ面積ノ和ハ、求メル領域ノ面積ヨリモ小サイ、ソノ矩形ノ面積ノ和ヲ A_{n-1} トスル、



問一 A_{n-1} ハ、次ノ等式ニ書き表サレル。コレヲ證明セヨ、

$$A_{n-1} = \frac{5}{n} \left[\left(\frac{5}{n} \right)^2 + \left(\frac{5}{n} \times 2 \right)^2 + \left(\frac{5}{n} \times 3 \right)^2 + \cdots + \left(\frac{5}{n} \times (n-1) \right)^2 \right]$$

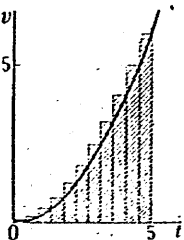
上ノ等式ノ右邊ヲ、デキルダケ簡單ナ形ノ式ニ書き改メヨ、

問二 n ガ限りナク大キクナル時、 A_{n-1} ハドノヤウナ値ニ近ヅクカ、

又、右ノ圖ニ示シタヤウニ、ソノ領域ヲ含ム n 箇ノ矩形ヲ作り、ソノ n 箇ノ矩形ノ面積ノ和ヲ B_n トスル。明ラカニ、 B_n ハソノ領域ノ面積ヲ示ス數値ヨリモ大キイ、

問三 B_n ヲ求メル式ヲ言ヘ。又、ソレヲデキルダケ簡單ナ形ノ式ニ書き改メヨ、

n ガ限りナク大キクナル時、 B_n ハドノヤ



ナ値ニ近ヅクカ、

問二、問三テ求メタ極限值ハ相等シイ、コノ値ハ始メノ5秒間ニ進ンダ道程ヲ示ス値ニ等シイ、

問四 前問デ、始メカラ t 秒間ニ進ンダ道程ヲ x 米トスル、 x ト t ノ關係ヲ式ニ書き表セ、

二 積分

x ノ函數ヲ $y=f(x)$ トスル。 a カラ b マデノ區間ヲ n 等分シ、各分點ノ横軸上ノ座標ヲ順次 $x_1, x_2, x_3, \dots, x_{n-1}$ トスル。相隣ル分點ニヨツテ定マル區間 $x_1-a, x_2-x_1, \dots, b-x_{n-1}$ ノ長サヲ Δx トシテ、次ノヤウナ和 A_{n-1} ヲ考ヘル、

$$A_{n-1} = f(a)\Delta x + f(x_1)\Delta x + f(x_2)\Delta x + \cdots + f(x_{n-1})\Delta x$$

n ガ限りナク大キクナルト、 $\Delta x \rightarrow 0$ ニ限りナク近ヅク、ソノ時、和 A_{n-1} ハ或ル定マツタ値ニ限りナク近ヅクノガ普通デアアル、

コノ極限ヲ求メルコトヲ、 $f(x)$ ヲ a カラ b マデ積分スルトイヒ、ソノ値ヲ $\int_a^b f(x)dx$ ト書き表ス、

因ツテ $\int_1^5 x^2 dx = 41\frac{1}{3}$

問一 函數 $y=x^2+x$ ヲ0カラ4マデ積分セヨ、

問三ノ B_n ハ、問一ノ A_{n-1} ヨリモ大キイ、コノ差ハ、圖上デドノヤウナモノヲ表スカ、又、コレヲ n ノ式ヲ書き表セ、
又、ソノ差ハ n ガ限りナク大キクナルニツレテ、0ニ限りナ

ク近づく、コレヲ證明セヨ。

二 直線上ヲ運動スル點ガアル。始メカラ t 秒後ノ速サヲ y 米/秒トスル時、 t, y ノ間ニ次ノ關係ガアルトスル。

$$y = 100 - 9.8t$$

始メノ 5 秒間ニ進ンダ距離ハ何程カ。

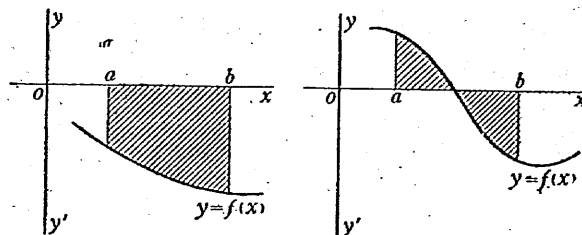
三 函數 $y = 3x^3$ ヲ 0 カラ 5 マデ積分セヨ。先ヅ、問二ノ結果カラソノ値ヲ推定シ、次ニ、ソレヲ計算デ確カメヨ。

四 函數 $y = x^3$ ヲ 0 カラ 10 マデ積分セヨ。次ノ公式ヲ參考ニシテ考ヘヨ。

$$1^3 + 2^3 + 3^3 + \dots + p^3 = \frac{p^2(p+1)^2}{4}$$

五 下ノ左ノ圖ガ示スヤウニ、曲線 $y = f(x)$ ノ全部ガ x 軸ノ下方ニアル場合ニ、 $\int_a^b f(x) dx$ ノ符號ハドウナルカ。

又、下ノ右ノ圖ガ示スヤウニ、曲線ノ一部ガ x 軸ノ下方ニアル場合ニハ、 $\int_a^b f(x) dx$ ハ圖上デ何ヲ表スカ。



六 函數 $y = f(x)$ ガ、時間 x 秒ト速サ y 米/秒トノ關係ヲ表スモノトスル。曲線 $y = f(x)$ ノ全部ガ x 軸ノ下方ニアル場合ニ、 $\int_a^b f(x) dx$ ハ何ヲ表スカ。

又、曲線ノ一部ガ x 軸ノ下方ニアル場合ハドウカ。

七 次ノ函數ヲ 0 カラ 1 マデ積分セヨ。

$$(一) y = x^2 + 5x$$

$$(二) y = x^2 - 4$$

$$(三) y = x^3 + x^2$$

$$(四) y = x^3 - x^2$$

八 x ノ二ツノ函數ヲ $f(x), g(x)$ トスル。積分ニ次ノ性質ガアルコトヲ證明セヨ。

$$\int_a^b \{f(x) + g(x)\} dx = \int_a^b f(x) dx + \int_a^b g(x) dx$$

九 前問ノ關係ヲ用ヒテ、七ノ計算ヲセヨ。

十 函數 $y = 2(x-1)(5-x)$ ヲ 1 カラ 5 マデ積分セヨ。

五 原始函數

一 不定積分

前節デ、定マツタ範圍デ積分スル方法ヲ考ヘタ。然シ、積分スル函數ハ一次、二次等ノ次數ノ低イ多項式デ表サレルモノデアリ、ソノ方法ハ區分求積法デアツタ。

積分ショウトスル函數 $y = x^n$ ノ次數 n ガ、絶對値ノ大キナ正或ハ負ノ整數デアツタリ、分數デアツタリスル場合ニモ、區分求積法ヲ適用ショウトスルト、積分スルノガ困難トナル。コノヤウナ場合ニモ、簡單ニ積分デキル方法ヲ工夫ショウ。

x ノ函數ヲ $f(x)$ トスル。 $\int_a^b f(x) dx$ デ、 a ヲ固定シ、 b ガケラ變ヘルコトニスルト、積分シテ得ラレル値ハ b ノ函數ト考ヘラレル。

今、 b ヲ變數トミナシテコレヲ x トシ、 $\int_a^x f(x) dx$ ヲ作ルト、

コレハ x ノ函數デアアル。コレヲ $F(x)$ ト書キ表シテオク、即チ

$$y_1 = f(x), \quad y_2 = \int_a^x f(x) dx = F(x)$$

上ノ二ツノ函數 $f(x)$, $F(x)$ ノ間ニドノヤウナ關係ガアルカ、運動ヲ例ニトツテ調べヨウ。

$y_1 = f(x)$ ガ時間 x ト速サ y_1 トノ關係ヲ示スモノトミナセバ $y_2 = F(x)$ ハ時間 x ト道程 y_2 トノ關係ヲ示スモノト考ヘラレル。随ツテ、 $F(x)$ ハ微分シテ $f(x)$ ニナル函數デアルト推定サレル。

問一 先ヅ、函數 $y = x^2$ ヲ a カラ x マデ積分シ、次ニ、得ラレタ函數ヲ x ニ就イテ微分セヨ。コノ場合ニ、上ニ述ベタコトガ成リ立ツカドウカラ確カメヨ。

任意ノ函數ニ就イテモ、上ニ述ベタコトガ成リ立ツカドウカラコレヲ調べヨウ。

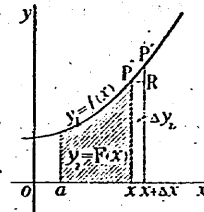
道程ハ曲線 $y_1 = f(x)$ ノ x 軸及ビ y 軸ニ垂直ナ二直線ガ圍ム圓形ノ面積ニヨツテ示サレル。故ニ、面積ノ微分ガ、ソノ曲線ノ y 座標ニナルカドウカトイフ形ヲ調べテミヨウ。

x ガ Δx ダケ増加スル時、 $y_1 = f(x)$ 及ビ $y_2 = F(x)$ ガソレゾレ Δy_1 , Δy_2 ダケ變化スルモノトスル。

右ノ圖カラ明ラカナヤウニ

$$\Delta y_2 = f(x) \cdot \Delta x + (\text{面積 } PRP')$$

右ノ圖ノヤウナ場合ニハ、面積 PRP' ハ $\Delta y_1 \times \Delta x$ ヨリモ小サイ。コレハ、一般ニ曲線ノ弧 PP' ガ P カラ P' へト上昇ス



ルカ、或ハ下降スル場合ニイヘルコトデアアル。弧 PP' 上ノ點カテ PR へオロシタ垂線ノ長サノ一番大キナモノヲ d トスルト、面積 PRP' ヲ示ス數ノ絶對値ハ、 $d \times \Delta x$ ヲ超エナイ。

Δx ガ 0 ニ限りナク近ヅケバ、 d モマタ 0 ニ限りナク近ヅクノガ普通デアアル。今、面積 PRP' ヲ示ス數ヲ $\delta \times \Delta x$ トスル。

$$\Delta y_2 = f(x) \cdot \Delta x + \delta \Delta x$$

問二 上ニ述ベタコトヲ、面積トイフ考ヘヲ用ヒナイデ、函數ノ性質ヲ用ヒテ書キ改メヨ。

問三 Δx ガ 0 ニ限りナク近ヅクト、 δ モマタ 0 ニ限りナク近ヅクノガ普通デアアル。又、ソノ結果ニヨリ、一般ニ次ノ等式ガ成リ立ツ。

$$\frac{dy_2}{dx} = f(x)$$

コレヲ證明セヨ。

微分スルト $f(x)$ ニナル元ノ函數 $F(x)$ ヲ、 $f(x)$ ノ 原始函數 トイフ。コノ關係ヲ示スノニ次ノ記號ヲ用ヒル。

$$\int f(x) dx = F(x)$$

或ル函數ノ原始函數ヲ求メルコトヲ、ソノ函數ヲ 積分スル トイフ。コレヲ前ニ考ヘタ、限定サレル範圍内デノ積分ト區別スル時、前者ヲ 不定積分 トイヒ、後者ヲ 定積分 トイフコトガアル。

問四 次ノ函數ノ原始函數ヲ言ヘ。

$$(一) y = 3x^2$$

$$(二) y = x^3 - 8x + 2$$

六ノ函數ノ何レヲ微分シテモ、 $3x^2$ トナル。

$$x^3, \quad x^3 + 10, \quad x^3 - 0.3$$

定数だけシカ違ハナイ函数ヲ微分スルト、導函数トシテ同ジ
函数ガ得ラレル。随ツテ、一ツノ函数ノ原始函数トシテ、定数
だけ異ニスル無数ニ多クノ函数ガ得ラレル、例ヘバ、

$$\int 3x^2 = x^3 + k \quad (k \text{ ハ任意ノ定数})$$

ト書き表スコトガデキル。

コノ定数 k ヲ、積分定数 トイフ。

問五 函数 $y=x^n$ ノ原始函数ヲ求メヨ。

一般ニ、等式 $\int x^n dx = \frac{x^{n+1}}{n+1} + C$ ガ成リ立ツ。但シ、 n ガ
 -1 デアル場合ハ例外デアル。 n ガ -1 デアル場合ニハ、上ノ
等式ハ無意味トナルカラデアル。

x^n ノ導函数ハ nx^{n-1} デアルカラ、モシモ x^{-1} ノ原始函数ガ
 ax^n ノ形ヲ書き表サレルナラバ、ソレハ bx^n デナケレバナラナイ。
然ルニ bx^n 即チ b ノ導函数ハ 0 デアリ、 x^{-1} デハナイ。随ツテ、
 x^{-1} ノ原始函数ハ多項式ヲ表サレナイコトガ推定サレル。 x^{-1} ノ
積分ニ就イテハ、後デ考ヘルコトニシヨウ。

二 積分ノ性質

x^3+x^2 ヲ微分スルト、 $3x^2+2x$ ガ得ラレル。随ツテ、 $3x^2+2x$
ノ原始函数ハ x^3+x^2+C (但シ、 C ハ定数) ト書き表サレル。

問一 次ノ函数ノ原始函数ヲ言ヘ。

(一) $3x^2-2x$

(二) $4x^3+x$

(三) $3x^2+2$

(四) x^3-5x+2

(五) $x^3-\frac{1}{2}x^2-\frac{2}{3}x+5$

(六) $\frac{3}{7}x^6+\frac{5}{8}x^5-\frac{2}{3}x^4+x^3-\frac{1}{2}x^2-x-15$

問二 定数ヲ適當ニ加減スルコトニスレバ、二ツノ函数 $f(x)$ 、
 $g(x)$ ノ和ノ原始函数ハ、各ノ原始函数ノ和ニ等シイトイヘル。
コレヲ證明セヨ。

$6x^5$ ノ原始函数ハ x^6+C ト書き表スコトガデキル。 $-7x^5$ ヲ
 $(-\frac{7}{6}) \times (6x^5)$ トミテ、 $-7x^5$ ノ原始函数ハ $-\frac{7}{6}x^6$ トスル。

問三 $f(x)$ ノ原始函数ヲ $F(x)$ トシ、 a ヲ定数トスル。 $F(x)$
ヲ用ヒテ、 $af(x)$ ノ原始函数ヲ書き表セ。

問二、問三デ得ラレタ結果ハ、次ノヤウニ書き表スコトガデ
キル。

$$\int \{f(x)+g(x)\} dx = \int f(x) dx + \int g(x) dx$$

$$\int af(x) dx = a \int f(x) dx$$

勿論、上ノ等式デ、定数ヲ適當ニ加減スルコトニシテノコト
デアル。

コノ結果ヲ用ヒルト、任意ノ多項式ノ積分ヲ、容易ニ書き下
スコトガデキル。

問四 次ノ函数ヲ積分セヨ。

(一) $y=x^2-3x^2$

(二) $y=3x^5-7x^5$

(三) $y=3x^5+\frac{1}{2}x^4-\frac{4}{5}x^3+\frac{3}{7}x^2+x-7$

$$(四) \quad y = -5 - \frac{1}{3}x + \frac{2}{5}x^2 - \frac{6}{8}x^3 - \frac{15}{11}x^4 - \frac{24}{13}x^5$$

三 定積分と不定積分

不定積分から定積分ヲ求メル方法ヲ考ヘヨウ。

不定積分ニ於ケル積分定數ハ、函數ヲドコカラ x マデ積分スルカニヨツテ定マル數デアル。次ノ不定積分ヲ例ニトシテ考ヘヨウ。

$$\int 3x^2 = x^3 + k$$

デ、0カラ x マデ積分スルモノトスレバ、 $x=0$ ニ對スル原始函數ノ値ハ0デナケレバナラナイ。随ツテ、コノ場合ニハ、 $k=0$ ト定マル。

-5カラ x マデ積分スルモノトスレバ、 $x=-5$ ニ對スル原始函數ノ値ハ0デナケレバナラナイ。随ツテ、コノ場合ニハ、 $k=125$ ト定マル。

問一 函數 $y = \frac{3}{2}x^2 + 3x + 4$ ノ原始函數ヲ言ヘ。次ニ、コレヲ用ヒテ、次ノ積分ヲセヨ。

$$(一) \quad \int_2^{10} \left(\frac{3}{2}x^2 + 3x + 4 \right) dx \quad (二) \quad \int_{-1}^1 \left(\frac{3}{2}x^2 + 3x + 4 \right) dx$$

問二 次ノ定積分ヲ求メヨ。

$$(一) \quad \int_1^8 (x^2 - 5x + 4) dx \quad (二) \quad \int_1^4 (x^2 - 5x + 4) dx$$

$$(三) \quad \int_1^8 (x^2 - 5x + 4) dx$$

問三 前問(二)、(三)ノ定積分ノ値ハ、圖表ノ上デドンナモノヲ表スカ。函數 $y = x^2 - 5x + 4$ ノ圖表ヲ書イテ調べヨ。

中等數學

四

第一類

文 部 省

[後] ¥ 95

文部省調査普及局刊行課寄贈

(61)